

修景整備の内容について

【概要】

大藤宅の北側、カネマル酒店との境界に板塀及び縦格子、看板を設置する。

【板塀】

板塀については、コンクリート基礎による鉄骨の柱・胴縁を設置し、南北面に杉板材を施工する。

板塀の両端には檜柱を設置し、屋根は切妻で上部にトタンを設置する。

【縦格子】

景観の連続性及び強度アップのため、前面道路から約 1.8 m のところに檜の縦格子を設置する。

【看板】

個人事業の電燈看板を前面道路から約 0.2 m のところに設置する。

それにより、その下に設置予定の花手水へのライトアップ効果もある。

【塗装】

色については、明るすぎず暗すぎないキシラデコールのオリーブを選択している。

【おもてなし・にぎわい創出活動】

大藤氏は、八幡通りの雰囲気を好んでこの土地に引っ越してきており、花手水にも参加している。

「花手水ライトアップ」や「はちまんマルシェ」の開催時には、写真にもあるように近所のひしや納豆店や雑貨店などに敷地を貸してにぎわい創出に寄与している。